

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズステーションあいの(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和6年9月5日		～ 令和6年9月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和6年9月5日		～ 令和6年9月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能事業所のため、他事業の職員の協力や活動によって他の事業のスペースを使用することができる。	・同じ建物内に看護師が常駐しており、体調不良の際や気になる症状がある際、ケガなどの処置時に協力をお願いできる	・今後は運動器具などが備えられた多目的棟を活用して体を動かす機会を多く設けたい。
2	・保育士・児童指導員・作業療法士など揃っている為、多角的な視点で療育・支援が出来る。	・職員全体が子どもたちの発達や問題点に対して、真摯に向き合って支援している。 ・職員間のコミュニケーションがとりやすく、子どもたちの支援方法等、気軽に相談でき、支援につながられている	・会議や打ち合わせの時間を増やし、お互いの意見を出し合い、より良い支援が行えるようにする。
3	・近くに公共施設が整っており、図書館や体育館などを使用しての活動ができる。 ・ヨガの指導資格者がおり、利用者に対して指導できる。	・敷地内に外遊びができるスペースがある。 ・長期休暇時等外出の機会が多く、社会体験の場が設けられている。	・屋外設置遊具を増やし、外遊びの時間を多く設けたい ・長期休暇時や祝日などを利用して、「親子ヨガの日」を計画し、親子で参加できる行事を増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別に過ごせる部屋がなく、不穏な時などの対応に困る。 ・下校時間や事業所までの所要時間によって到着時間が異なる為、静かに過ごせる場所が確保できていない。	・時間帯によっては部屋を分けて使用することが難しい。 ・放課後使用できる場所はあっても、職員の配置が出来ないこともある。	・到着時間や活動内容によってグループ分けし、活動場所を分散させていく必要がある。
2	・多方面に送迎に出ており、支援に残る職員が少ない。 ・トイレ支援などで部屋を離れる際に支援に残る職員が不在になる場合がある。	・曜日によっては送迎に何度も同じ方面へ行く場合もある。 ・トイレが支援の部屋から離れている。	・送迎のルートや職員を日々確認し、無駄のない配置をする。 ・事業所内で支援にあたる職員が複数居るような配置をする。
3	・テーブルや椅子が子どもたちに合わせたものになっていない。	・多機能事業所ということもあり、大人サイズのテーブルや椅子を使用したり、片付けのしやすい物(重ねて片づけられる物)を使用している。	・椅子に座った際、足裏が床につくよう補助具などを使用する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズステーションあいの(放課後等デイサービス)

公表日 令和6年11月16日

利用児童数

15名

回収数

15名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	1	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	0	6	・可能であればもう少し開催が多ければ…と思います	・今年度は夏休み中に1回（カステラクッキング）実施済み、11月に1回（運動会）を計画しています。今年度内に何かイベントが出来ればと考えています

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		キッズステーションあいの(放課後等デイサービス)				公表日	令和6年 11月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4		・活動によって分けるスペース、不穏な時のスペースなどもう少し欲しい ・利用児が10人以下であれば大丈夫であるが10人を超える日は狭いと感じる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2		・目が届かないと感じる時がある ・曜日や時間帯によっては「足りない」と感じる ・送迎時や5時半以降に短時間であるが「足りない」と感じる時がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・パーテーションで仕切る、棚に目隠しの布をかけるなどの工夫がなされている	・構造化は課題があると感じる ・テーブルやいすなど大人サイズのものが多く、使いづらさを感じる ・車いすでの出入りの際、扉の下枠に引っ掛かり通りにくい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・マット上は清潔に保ち子どもたちへもシューズを脱いで上ることを指導している	・環境設定（活動事にスペースを分ける等）の工夫が必要だと感じる	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	・体調不良時、着替えの際には相談室を使用、夏休み学習時等必要に応じて別棟個室を借りて対応できている ・コーナーを作って子どもたちの活動を促せるように環境設定を心がけている	・個別になれる場所がなく、パーテーションなどで仕切りをつけている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	・振り返りは充分とは言えないが以前より情報共有できる時間がとれている	・一日の終わりの振り返りはない ・全員が参画しているとは言えない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・定期的な担当者会議・面談が設けられており伝達する手段がある	・会議の回数ももう少しあると良い ・毎月の会議がないので昼礼の際に報告事項などある場合は行っているが時間が足りないので以前のように毎月の職員会議を再開してほしい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	・研修委員会が企画開催を行い、初任者・階層別・全職員向け等様々な研修がある。福祉QC活動にも取り組んでいる	・法人内研修等は行われているが、児童に関しての専門的な研修等の機会ははあまりない	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		・未公表であるため、公表を行う ・公表については実施していかねばいけないと思う	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		・すべてが計画に沿った支援が行われているとは言えない	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		・フォーマルなアセスメントは確認できていない時がある	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3		・話し合う機会が少ない ・職員で話し合う場を設けて欲しい。会議を開いて欲しい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・外へ出る機会や室内での製作、集団活動、ヨガなどを取り入れている	・放課後の利用時間は限られているが、活動の工夫が必要だと感じる
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		・個別の活動となると少ないように感じる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・その日の送迎や利用児童の確認、曜日により下校が遅く不穏になる子への対応など話している	・送迎が多く、職員が集まる時間がない ・打ち合わせのやり方は改善していきたいと思う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6	・職員の勤務時間の都合で全員揃う翌日の打ち合わせで確認することもある	・当日に振り返りの時間はとれない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・気になったことは記録するよう心掛けている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	1	・自立支援と創作活動の組み合わせなどを行っている	・地域交流は図書館利用ぐらいであるためもっと機会が増やせればと思う
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		・何とも言えない
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		・学校等とは支援を共有する機会が少ない、支援学校より見学など来所されたことはある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		・情報共有が密なところとそうでないところがある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		・把握できていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・途切れのない支援を行っていると思う	・卒業する子はおらず、ほとんどがアクティビティセンターへ移行している
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		・こども医療福祉センターへの研修を受けることができてはいるが、タイムリーな対応や助言が欲しい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		・市内他事業所との交流は行事を通してあるが、学童や児童館地域とはない。プライバシー保護の観点からも難しいのではないかと
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・代表者が毎回参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・お迎えの保護者には伝えている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		・そういった研修は行っていない	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		・電話、連絡帳やお迎え時に対応していることが多い
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	2	・親子で参加できる行事もあり、保護者同士での交流もあるように思う	・保護者参観行事を今後増やしていきたい ・父母の会、保護者会運営は保護者負担も出てくるので簡単には実現できない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		・「くまのご通信」やInstagramで情報発信を行っている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		・地域住民を招待するようなことは少ない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		・現在、対象者はなし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			